

やすサミ



議会だより

第178号

2024.8



安田さくら園 夕涼み会

令和6年6月定例会

町長行政報告	2
一般質問 2氏が問う	5
副町長の選任同意	7
教育長の任命同意	7
条例改正	8
令和6年度補正予算ほか	8

6月12日開会。副町長の選任同意、教育長の任命同意、専決処分承認、条例改正、令和6年度補正予算等、15議案を審議、14日に閉会した。

行政報告(概要)



黒岩町長

町営事業の進捗状況

◆各種事業の進捗状況◆

繰越明許措置の事業の進捗状況は、社会資本整備総合交付金事業(町道東谷寺山線外)や農業用水路等長寿命化・防災減災事業(ため池廃止工事)など計11件の事業について、計画どおり完成するよう、事前対応を進めている。

また、本年度の町営事業

も、各種の社会基盤整備事業(町道東谷寺山線・町道与床本田島線外)、南海地震対策関連事業、人口減少対策事業の推進など、事業実施の具体化を図っている。

◆ふるさと納税◆

令和5年度は、2623件、寄附金額3810万3千円の申し込みがあったが、件数36.6%減、金額23.6%減と前年度実績を大きく下回った。

昨年の制度見直し以降、前年同期を下回る状況が続いており、令和6年度は、新たな返礼品紹介サイトへの登録など、寄附額の確保に努める。

◆旧安田郵便局の活用◆

町の総合情報発信拠点のほか、ふるさと納税を含めた町特産品発送等の作業場として、早期の事業効果発

現に向け、年度内に再整備する計画で取り組んでいる。

◆安田川分水問題◆

簡易水道整備事業など、令和5年度の諸対策事業費が確定、電源開発より応分の負担、1630万5千円をいただき、水利権更新以後の負担額累計は2億3639万8千円となっている。

◆地域公共交通◆

コミュニティバス「やすら号」の本年4月から5月までの運行状況は、路線定期運行の東谷線が9便で138人、東島線が9便で162人の実績となっている。

◆移住・定住促進対策◆

移住定住促進計画は、高知県中山間地域再興ビジョンや、現在策定中の町総合振興計画後期計画及び第3期町まち・ひと・しごと創生総合戦略等との整合を図り、より実効性の高い計画を策定する。

◆人口減少対策◆

高知県が策定している「高知県中山間地域再興ビジョン」では、10年後に達成するべき姿と数値目標を定め、これに沿って取り組む市町村に対し、県は高知県人口減少対策総合交付金を交付することとし、本町は交付限度額595万5千円の配分を受け、奨学資金返還支援や新たな子育て支援策を考えている。

◆新エネルギー事業の推進◆

住宅用太陽光発電システム及び蓄電設備の設置に対する補助事業は、補助対象の拡充と金額の増額を図っている。(株)やすだソーラーパークの社会貢献と地域還元として、町内の自主防災組織に対してポータブル電源装置を配布することとしている。



コミュニティバス「やすら号」



町新規就農者等サポートハウス

◆農林水産業振興対策等◆

農業所得向上対策として、IOPクラウドのデータを活用した、栽培技術の確立を支援していくとともに、環境制御技術普及等を活用することで、農業所得の向上に取り組みたい。

担い手対策は、町内の一人が昨年4月からの研修を継続。町営サポートハウス

では、親元で研修した者が、7月から経営を開始し、J Aサポートハウスでも、昨年度に引き続き新規就農者がナス栽培を実践する。

今後の町の将来構想として、農地の基盤整備と大型園芸団地リース事業に向け、シンクタンクのアドバイスもいただき事業化に向け取り組んでいく。

本年度策定の地域計画は、地域の代表者と話し合いを進めており、今後は農地所有者へのアンケート調査の精度を上げるため農業委員会とも連携し、戸別訪問等で農地所有者の意向を確認し、10年後の地域の農地や農業の在り方を明確化することとしている。

中芸集出荷場のオクラ包装機については、これまで設備導入への支援を行ってきたが、近年、生産者数も増加し、既存設備では処理能力が不足することから、生産体制の効率化等を図るため、設備の導入支援をすることとしている。

◆社会基盤整備事業◆

国の耕作条件改善事業を活用し、西島及び唐浜地区で農道整備を実施し、昨年度に着手した下島頭首工の改修工事の継続、また「ため池」廃止について、使用していない4カ所の適正な廃止に向けた取り組みを実施する。

昨年度に引き続き、町道

東谷寺山線の早期完成に向けた改良工事、橋梁保全対策は、東谷橋ほか3橋で実施。

◆高規格道路整備等◆

県東部で唯一の未事業化区間であった阿南安芸自動車道 奈半利安芸道路の「奈半利〜安田間」が本年4月1日に新規事業化。本町としても、引き続き早期完成に向け、関係機関と連携して取り組んでいく。

「安田〜安芸間」においては、5月に唐浜地区で設計内容をもとに現地説明会を開催。今後、西島・東島地区でも順次実施していく計画。

また、国の設計図をもとに、地域の意見等を取りまとめて、国等の関係機関と安田安芸道路対策協議会で設計協議確認書を締結する必要があり、現在、諸対策事業について検討協議を進めており、早期に調印できるように鋭意取り組んでいる。

◆中山間振興ビジョン◆

本年度から3カ年計画で農山漁村振興交付金事業を導入し、農地保全対策、地域資源の活用、集落維持に向けた生活支援など地区住民や関係する各種団体等と一体となって、中山地区の将来のあるべき姿を話し合い、地域の暮らしや産業を守り、地域に活力を生んでいくための支援策や支援体制を取りまとめた振興ビジョンを策定する。

◆集落活動センターの活動◆

「集落活動センターなかやま」の活動は、新たな取り組みとして、4月16日に南海地震対策の基礎知識を学ぶ出前講座を開催。日頃の備えの重要性や災害時の応急対応など、実践的な防災基礎知識を学んだ。

また、地域住民からの要望の多いおしゃべりバスの再開、大学生との交流事業やイベントの開催について、本年度も取り組みを進める。自然薯の種芋づくりのウ

イルス病対策として、防虫ネットによる試験栽培を実施したが、単年度の結果だけでは効果の判断ができないため、試験栽培を継続し、長期的にデータを積み上げ検証していく。

「集落活動センターやすだ」は、6つの部会で地域から集約した課題解決や活性化に取り組み、本年度は、県立大学の地域学の現地実習受け入れなどを計画。

◆南海地震対策等◆

本年1月の能登半島地震、4月17日には豊後水道を震源とする地震で、本県西部に震度6弱の地震が発生するなど、各地で大地震が発生している状況をみても、南海トラフ地震の発生が年々切迫していることを実感している。本年度より防災対策に対応する専任職員を配置し、5月に能登半島地震の被災地、輪島市へ災害対応の職員派遣を行った。災害派遣の経験を今後の防災対策に生かすことができ

るのではないかと考えている。

本年度も引き続き、木造住宅の耐震化、ブロック塀の安全対策、耐用年数が到来した避難誘導灯の更新等を進め、家具の転倒防止やガラス飛散防止に対する支援を拡充し、まずは避難行動がとれるよう対応を図る。

開かれた
町政運営

◆対話と協働◆

毎月1回の町長室開放日や中山支所での執務日のほか、本年度も休日や夜間も開催し、多くの方からのご意見をいただきたいと考えている。また、町長への手紙事業や各種団体との意見交換、地域住民懇話会を実施する。

地域活動に対する補助金は、対象経費の明確化や補助上限額の引き上げなどの改正を行っている。

教育行政の状況

◆学校教育◆

本年度は、安田さくら園45人、安田小学校98人、安田中学校29人でスタート。

教育委員による文化施設、園・学校訪問を実施、園児、児童、生徒の様子を参観し、運営状況の特色と課題の把握や管理職との意見交換を行い、今後の就学前教育及び学校教育等の充実に努める。

5月に学校運営協議会を開催し、園・小中学校の本年度の学校運営基本方針並びに運営目標について承認をいただき、関係者間で目標やビジョンの共有化を図っている。

建設以来半世紀が経過した小中学校のプールについて、維持補修を行い施設の延命化に取り組んでいたが、近年修繕費に多額の経費を要するなど、子どもたちの安全性を確保するために、



寄贈を受けた石田英吉の手紙など

早急な整備が必要となってきている。

◆社会教育◆

和・企画展「やすだの子どもたち展」では、町史編さん作業をする中で、過去の町広報紙に掲載された地域の行事に参加する子どもたちの姿の写真や昔遊んでいた「おもちゃ」もあわせて紹介、展示している。

本町出身の元海援隊士で

県知事も歴任した石田英吉の子孫の方から生家の家財整理の相談があり、文化振興企画員らが調査したところ、英吉が父親や弟に宛てた手紙など20数点が発見された。海援隊研究においても大変貴重な資料で、発見された手紙や写真など、安田町の文化振興のために役立てていただくようにと寄贈を受けた。

一般質問



Q 子育て世帯への負担軽減のために高校生へ支援する考えはないか

A 将来を担う世代への教育支援として検討している



安並議員

問 本町においても子育て世代へのさまざまな負担軽減策があり、どれも優れた施策と思うが子育てをしていくなか、子どもが高等学校に進学することで遠方への通学や寮または、部屋を借りての高校生活になり、親の負担が増えるのは明らかである。

答 本町の子育て世帯への



清岡教育次長

ているが、これでも私は十分な支援制度ではないと感じている。親元を離れ寮や部屋を借りて生活している高校生に対しても支援が必要。高校生の皆さんが安心して学び成長できる環境を整えるためにすべての高校生に一定額の援助ができないか。

経済的支援策は、赤ちゃん誕生祝い金の支給、安田さくら園保育料及び給食費の完全無償化、満18歳まで医療費無償化、小中学生に対する給食費

や修学旅行費の一部補助などを行っている。
本町から高知市内など遠方の高等学校へ通学する生徒は毎年一定数おり、昨今



遠方へ通学する高校生

の経済情勢からみても通学費は大きな負担になっていると推測される。

国は、こども・子育て政策を強化しており、本町も負担の増える高校生への支援策について検討を行う必要があると考えるが、事情はさまざまであることから、通学支援に限定せず、将来を担う世代への教育支援として検討したいと考えている。

なお、継続的な支援を行うには、財源確保が課題となるため、国や県の今後の子育て政策にも注視し、財源確保にも努めながら、若い世代が安心して子育てできるまちづくりの実現に向け取り組んでいこう。

一人暮らしの高齢者の見守りにデジタル機器の活用を

Q どのような活用支援が効果的か検討していく



内川議員

問 本町では一人暮らし等の見守りを必要とされる高齢者に対し、民生委員や社会福祉協議会等による日常的な訪問等や各地域でのあったかふれあいセンター事業を通じて、孤独化を防ぐ取り組みが行われている。また、緊急時には速やかに関係者に連絡がとれる通報装置も貸与されている。

答 地域での高齢者の見守りについては、誰もが集え



小島町民生活課長

る。そこで、これを補うためデジタル機器を活用した見守り活動を取り入れてみてはどうか。方法として、家電の活用等が考えられる。これらは普段の生活状況から異常を感じできることから、見守り活動を担うマンパワー不足が心配される中、これを補うツールの一つとして、導入を検討する考えはないか。

また「安心生活創造事業」では、高齢者宅への訪問活動や配食サービスの実施により、町全体で誰一人取り残されることのない見守り体制と、人と人が支え合える関係性を構築している。緊急通報装置については、委託業者が健康状態の把握、装置の動作確認など「お元氣コール」を定期的に実施し、緊急の通報も数件の通報実績がある。



緊急通報装置

デジタル機器による安否確認が必要となる。本町としては、身近な家族や近隣住民等、地域の連携を活かすマンパワーによる見守り体制の構築に継続して取り組み、デジタル機器の活用については、どのような支援が最も効果的であるか検討していきたい。

人事

◆副町長の選任同意◆

内容

副町長の任期が6月22日に満了することから選任について同意を求めるもの。



南 順一 氏
(61歳)

審議結果…全員賛成(同意)

◆教育長の任命同意◆

内容

教育長の任期が6月30日に満了することから任命について同意を求めるもの。

審議結果…全員賛成(同意)

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求める件◆

内容

人権擁護委員法の規定により、法務大臣から委嘱されている本町の人権擁護委員2人のうち1人の任期が令和6年9月30日で満了となることから、委員候補を選任し、推薦するため、議会の意見を求めるもの。



竹内 良和 氏
(54歳)



片岡 美穂 氏
(正弘)

審議結果…賛成多数(適任)

◆町固定資産評価審査委員会委員の選任同意◆

内容

地方税法等の規定により、固定資産評価についての不服申し立てに対する審査機関として設置している、町固定資産評価審査委員会委員3人のうち、2人の委員の任期が満了となることから、後任委員の選任について同意を求めるもの。



公文 順一 氏

審議結果…全員賛成(同意)



山本 真 氏

審議結果…賛成多数(同意)

専決処分

◆安田町税条例の一部改正◆
◆安田町国民健康保険税条例の一部改正◆

内容

地方税法等の一部を改正する法律等が、本年3月30日付で公布、4月1日から施行されることに伴い、3月31日付で町税条例及び町国民健康保険税条例を改正する措置について、専決処分したもの。

【町税条例】

○定額減税に係る規定の追加
や固定資産税の評価替えに伴う負担調整措置の継続等

【町国保税条例】

○国保税の適正化を図るため、課税限度額及び軽減判定に係る所得基準の見直し

審議結果…2件とも全員賛成(承認)

議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽においでください

* 次回の定例会は、9月上旬にひらかれます。

条例改正

◆安田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正◆

内容

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関連する規定を改めるとともに、個人番号利用事務の範囲並びに庁内連携を行う個人番号利用事務及び特定個人情報の範囲を改正するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆職員給与に関する条例の一部改正◆

内容

教育委員会事務局の課長5級職を町長部局の課長職と同

等の6級職へ位置付けを行い、5級職に課長補佐を追加し、また、各施設の設定及び管理条例に位置付けられている職務について職務分類表へ整理を行うもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆安田町税条例の一部改正◆

内容

地方税法等の一部改正に伴い、町民税における寄付金税額控除規定の見直しなど、所要の改正を行うもの。

審議結果…全員賛成(可決)

過疎計画変更

◆安田町過疎地域持続的発展計画の一部変更◆

内容

「産業の振興」及び「子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進」

の項目について、情報発信拠点施設として旧安田郵便局の改修に関する内容の追加及び過疎対策事業債の一部を基金に積み立て、地域支え合い事業の適切な財源確保を行うため計画の一部を変更するもの。

審議結果…全員賛成(可決)



旧安田郵便局

補正予算

◆令和6年度町一般会計及び国保特別会計補正予算◆

内容

当面、その執行に緊急を要する必要がある事項について追加の措置を講じるもの。補正の主な内容は

◎一般会計(第1号)

○定額減税調整給付金の追加

1200万円

○こうち農業確立総合支援事業補助金の追加

1260万円

○燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業補助金の追加(魚体選別機への補助)

260万円

○プール改築工事設計委託料の追加(小中プール統合)

1450万円

など

総額4940万円の追加

補正後の予算総額

32億540万円

◎国保会計(第1号)

○マイナンバーカードと被保険者証一体化に係るシステム改修費の追加

246万円

総額246万円追加

補正後の予算総額

4億6916万円

質疑

問(鶴田議員)

小中学校のプール統合による改築設計について、小中が共有して使用することになるが、プールの規格はどのような設計になっているのか。

答 小中学生が共有することになるので、十分に学校側と協議を重ね、安全面を一番に配慮し適切な水深になるよう設計を進めていく。

問(黒岩議員)

魚体選別機とはどのような機械で、その効果は。

答 魚種別に選別されたものを機械に掛け魚体の大きさごとに選別できるものとなっております。作業効率の向上が図

られ漁業者の負担を軽減するもの。

審議結果…2件とも全員賛成

(可決)



小学校のプール

繰越報告

◆令和5年度町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

内容

令和6年度に繰り越して執行する事業と繰越額の報告。

令和6年度への繰越総額

2億801万円

主な事業は、

○戸籍情報システム改修外

398万円

○給付金・定額減税一体支援事業

687万円

○和池池外ため池廃止工事

4097万円

○森林管理道中芸北上線開設事業負担金

1680万円

○県営急傾斜地崩壊対策事業負担金

235万円

○町道東谷寺山線外道路改良工事

8384万円

○木造住宅等住宅耐震改修事業外

713万円

など

繰越明許費とは
歳出予算の経費のうち、予算編成後の事由等により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り、繰り越して使用できる経費。

専決処分の報告

◆損害賠償の額の決定及び和解

内容

公務中に発生した事故に係る損害賠償額の決定及び和解を行ったことから、議会に報告するもの。

議会のページ

4月

- 8日 安田中学校入学式
安田小学校入学式
- 10日 議会広報編集委員会
- 11日 安田川水系資源保護推進協議会総会
(馬路村)

5月

- 13日 道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会通常総会
(高知市)
- 道路整備促進高知県大会
(高知市)
- 17日 安芸郡町村議会議長会総会
(高知市)
- 20日 中芸地区商工会第19回通常総会
(田野町)
- 21日 町村議会議長・副議長研修会
(東京都)
- 24日 安芸地区地域安全協会総会
(安芸市)
- 25日 大阪高知県人会総会
(大阪府)
- 28日 産業厚生常任委員会

6月

- 29日 一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会総会
(田野町)
- 高知東部自動車道整備促進期成同盟会総会
(田野町)
- 国道493号整備促進期成同盟会役員会・総会
(田野町)
- 30日 総務教育常任委員会
(田野町)
- 2日 尾崎正直国土交通大臣政務官による講演会・意見交換会
(高知市)
- 5日 議員協議会
(高知市)
- 7日 議会運営委員会
- 9日 町内環境美化行動

編集後記

暑い日が続きますが、体調はいかがでしょう？

この時期の体調管理には、運動とスタミナ料理です。適度な運動で体温が少し上がる程度の運動が免疫力を上げるそうです。動画サイト等で免疫力アップ運動と検索してみてください。

そして、この時期、我が家のスタミナ料理はナスのタタキに炒めた豚肉と玉ねぎをのせて食べます。

ナスには、血圧を改善する効果があるコリンエステルが豊富に含まれていることが実証され、生鮮ナスとして初めて「機能性表示」が認められました。

今後は機能性表示食品として需要の拡大や販売が増えることを期待しています。

(編集委員 田之上)



議会広報発行人

議長 佐竹 正利

議会広報編集委員会

委員長	内川 一則
副委員長	黒岩 円
委員	鶴田 亀代志
委員	安並 功裕
委員	田之上 健太
委員	中島 瑞夫

各常任委員会の所管事項調査

総務教育・産業厚生両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

産業厚生常任委員会

開催日 令和6年5月28日

調査事項

- ① 令和6年度経済建設課・町民生活課の主要事業の執行計画について
- ② 社会福祉協議会について勉強会
- ③ その他

経過

経済建設課・町民生活課から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎ 町道維持管理事業について、住民生活を支える町道の安全かつ良好な通行を確保するためには、老朽化の度合い



産業厚生常任委員会

を日頃から把握し、修繕等については的確な優先順位をつけて効率的な維持管理に努めること。

総務教育常任委員会

開催日 令和6年5月30日

調査事項

- ① 令和6年度総務課・地域創生課・教育委員会の主要事業の執行計画について
- ② その他

経過

総務課、地域創生課、教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎ 本県で本年4月に発生した地震では、県内初の震度6弱が観測されるなど防災に対する緊急度は高まっており、減災対策のひとつとして「戸別津波避難カルテ」作成は急務である。地域住民と協働のもと、



総務教育常任委員会

早期完成に努めること。
◎ 中山間振興ビジョン策定について、地域を取り巻く課題への対応や次世代に引き継ぐ方策など、地域住民、行政一体となって実現可能な持続性のあるものとなるよう進めていくこと。